

**【記入例】特定粉じん排出等作業実施届出書**

届出日を記入⇒ 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

西宮市長様

届出者は**発注者（施主）**  
 ※押印が無くても手続き可能ですが、押印を省略する場合は、メールアドレスの記入を記入してください  
 ※押印無しの場合、郵送での受付は不可としています

届出者（氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名）  
 名又は名称 **株式会社○▲◆不動産レジデンス**  
 住 所 **西宮市○○町▲丁目●番×号**  
 代表者の氏名 **代表取締役社長 ◆▲ 太郎**  
 電話番号 **××××-×××-××××**  
 電子メール **\*\*\*\*\*-\*\*\*@\*\*\*\*. \*\*. \*\***  
 担当者氏名 **×× 二郎**

押印  
なしでも  
可

断熱材、保温材若しくは耐火被覆材に係る特定粉じん排出等作業を実施するので、大気汚染防止法第18条の17第1項（第2項）の規定により、次のとおり届出ます。

届出対象特定工事の名称	●●マンション解体工事に伴うアスベスト除去工事					
届出対象特定工事の場所	西宮市 ○○町○○番○○号					
届出対象特定工事の元請業者又は自主施工者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	氏名又は名称	○○建設株式会社				
	住 所	○○県○○市○○町○○				
	代表者の氏名	代表取締役 ▲◆ 一郎				
特定粉じん排出等作業の種類（該当するものに●）	大気汚染防止法施行規則別表7					
通常の解体工事であれば 1又は2の項 改修工事は6項に●	● 1の項	建築物の解体工事（次項又は5の項を除く）				
	2の項	建築物の解体工事のうち、石綿を含有する断熱材、保温材又は耐火被覆材を除去する作業（掻き落とし、切断、又は破碎以外の方法で特定建築材料を除去するもの）（5の項を除く）				
	5の項	特定建築材料の事前除去が著しく困難な解体工事				
	6の項	改造・補修作業				
特定粉じん排出等作業の実施の期間	自	令和 ○ 年 ▲ 月 ◆ 日	※整理番号			
	至	令和 ○ 年 ◆ 月 × 日	※受理年月日			
特定建築材料の種類（該当するものに●）	● 1	吹付け石綿				
	● 2	石綿を含有する断熱材				
	3	石綿を含有する保温材				
	4	石綿を含有する耐火被覆材				
特定建築材料の使用箇所	見取り図のとおり。					
特定建築材料の使用面積	×××× m <sup>2</sup>					
特定粉じん排出等作業の方法	別紙のとおり。					
参 考 事 項	特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の概要（該当するものに●）	建築物	● 耐火	準耐火	その他	※備考
		延べ床面積	1,500 m <sup>2</sup> （ 5 階建）			
		其他工作物（ ）				
参 考 事 項	届出対象特定工事の元請業者又は自主施工者の現場責任者の氏名及び連絡場所	現場責任者氏名等	○○建設株式会社 ×× 二郎			
		連 絡 先	○○○-○○○○-○○○○			
	下請負人が特定粉じん排出等作業を実施する場合の当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	現場責任者氏名等	▲▲工業株式会社 ◆◆ 三郎			
		連 絡 先	○○県▽■市××町○○			

備考 1 吹付け石綿又は石綿を含有する断熱材、保温材若しくは耐火被覆材に係る特定粉じん排出等作業の対象となる建築物等の部分の見取り図を添付すること。見取図は、主要寸法及び断熱材、保温材、耐火被覆材の使用箇所を記入すること。  
 2 参考事項の欄に掲げる事項は必須の記載事項。記載事項に所定の事項を記載した場合は、同欄を空欄として、大気汚染防止法施行規則第10条の4第2項第1号に規定する事項を記載した書類とみなす。  
 3 ※印の欄には、記載しないこと。  
 4 届出書、見取図及び別紙の用紙は、A4用紙（縦書き）で記入すること。  
 5 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）は、電子メールの記入により、押印を省略することができる。

元請業者及び下請業者とも日中に連絡が取れる  
 現場責任者の連絡先をご記入ください

別紙

## 特 定 粉 じ ん 排 出 等 作 業 の 方 法

特定粉じん排出等作業における措置 ( 該 当 す る も の に ● )	●	除去	囲い込み	封じ込め	その他
特定粉じん排出等作業の方法が大気汚染防止法第18条の19各号に掲げる措置を当該各号に定める方法により行うものでないときは、その理由					
		※災害等の何らかの理由で作業基準が順守できない場合は記入してください ※通常は空白で構いません			
集じん・排気装置	機種・型式・設置数	●●社 集じん排気装置 ABCD-1000X 2台			
	排気能力 ( m <sup>3</sup> / m i n )	( 1 時間当たりの換気回数 4 回 ) ○○m <sup>3</sup> /min			
	使用するフィルタの種類及びその集じん効率 ( % )	一次フィルタ・二次フィルタ H E P A フィルタ・捕集効率 99.99%			
使用する資材及びその種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養生用シート、テープ</li> <li>・廃石綿等専用排気袋 (○色) (透明)</li> <li>・湿潤剤 (○社・○○○)</li> <li>・高性能真空掃除機</li> <li>・エアレススプレー</li> </ul>				
その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工区画の隔離</li> <li>・集じん排気装置の設置</li> <li>・セキュリティゾーン (前室) の設置</li> <li>・飛散防止剤の使用</li> <li>・H E P A フィルタ付真空掃除機の使用</li> </ul>				

- 備考
- 1 本様式は、特定粉じん排出等作業ごとに作成すること。
  - 2 使用する資材及びその種類の欄には、湿潤剤・固化液等の薬液、隔離用のシート・接着テープ等の特定粉じん排出等作業に使用する資材及びその種類を記載すること。
  - 3 その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第7に規定する「同等以上の効果を有する措置」の内容、散水の手法、囲い込み又は封じ込めの方法等を記載すること。
  - 4 作業場の隔離又は養生の状況、前室及び掲示板の設置状況を示す見取図を添付すること。見取図は、主要寸法、隔離された作業場の容量 (m<sup>3</sup>) 並びに集じん・排気装置の設置場所及び排気口の位置を記入すること。

該当する者にチェック **建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（記入例・大防法）**

- 石綿障害予防規則第4条の2及び大気汚染防止法第18条の15第6項の規定による事前調査結果の報告を行っております。
- また、 労働安全衛生法第88条第3項（労働安全衛生規則第90条第5号の2）の規定による計画の届出
- 大気汚染防止法第18条の17第1項の規定による作業実施の届出
- 環境の保全と創造に関する条例第57条の規定による作業の届出

**※注**  
**掲示サイズはA3（42.0cm×29.7cm）以上**

を行っております。

石綿障害予防規則、大気汚染防止法及び環境の保全と創造に関する条例の規定に基づき、適切な石綿のばく露防止対策及び石綿粉じんの飛散防止対策の実施について、以下のとおり、お知らせします。

工事の名称・現場住所		(工事名称) ●●マンション解体工事に伴うアスベスト除去工事	(現場住所) 西宮市 ○○町○○番○○号
届出提出先及び届出年月日		西宮労働基準監督署 西宮市環境保全課	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日
事前調査終了年月日		令和 ○ 年 ◆ 月 × 日	発注者又は自主施工者 氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名）
お知らせ看板掲示年月日		令和 ○ 年 ○ 月 ◆ 日	氏名又は名称 <b>株式会社○▲◆不動産レジデンス</b> 代表者氏名 <b>代表取締役社長 ◆▲ 太郎</b>
解体等工事期間		令和 ○ 年 ○ 月 × 日 ~ 令和 ○ 年 ■ 月 ■ 日	住所
石綿除去（特定粉じん排出）作業等の期間		令和 ○ 年 ○ 月 ▲ 日 ~ 令和 ○ 年 ○ 月 × 日	西宮市○○町▲丁目●番×号
石綿有無に係る事前調査方法の概要（調査箇所）			元請業者（工事の施工者かつ調査者）
◆調査方法（該当するものに <input checked="" type="checkbox"/> チェック） <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 現場での目視確認 <input checked="" type="checkbox"/> 分析調査    (定性分析方法) <input checked="" type="checkbox"/> JIS1481-1 <input type="checkbox"/> JIS1481-2			氏名又は名称（法人にあっては代表者の氏名）
◆調査箇所 ・1～5階 ・ポンプ室（敷地内）			氏名又は名称 ○○建設株式会社 代表者氏名 <b>代表取締役 ▲◆ 一郎</b> 住所 ○○県○○市○○町○○
調査結果の概要（使用部位と石綿含有建材（特定建築材料）の種類、判断根拠）			現場責任者氏名 ×× 二郎 連絡場所 TEL ○○○-○○○○-○○○○
階層等	部位	建材種類・名称	石綿繊維種類
1階	鉄骨梁	吹付けロックウール	クリソタイル
1階	外壁	仕上塗材	クリソタイル
1～5階	天井	ケイ酸カルシウム板第1種	クリソタイル・アモサイト
1～5階	内壁	煙突用断熱材	アモサイト
ポンプ室	設備	配管保温材	石綿含有なし
石綿除去等作業（特定粉じん排出等作業）の方法			石綿有無・判断根拠 ③
石綿含有建材（特定建築材料）の処理方法			③
<input checked="" type="checkbox"/> 除去 <input type="checkbox"/> 囲い込み <input type="checkbox"/> 封じ込め <input type="checkbox"/> その他（ ）			調査を行った者（分析等の実施者）
集じん・排気装置	機種・型式・設置数	機種 ●●社 集じん排気装置	型式 ABCD-1000X
	排気能力（m <sup>3</sup> /min）	○○m <sup>3</sup> /min	
	使用するフィルタの種類及びその集じん効果（%）	HEPAフィルタ・捕集効率99.99%	
使用する資材及びその種類			◆事前調査を実施した者 (資格名称) <b>特定建築物石綿含有建材調査者</b> (所属等) ○○建設株式会社 (氏名・登録番号) ×× 二郎 登録番号：○○○○○ (住所) ○○県○○市○○町○○
その他の特定粉じんの排出又は飛散の抑制方法			◆分析を実施した者 (所属等) ○▲環境分析センター (氏名・登録番号) ×▲ 五郎 登録番号：○○○○○ (住所) ○▲県×▲市■▽町○番◇号
備考：その他の条例等の届出年月日（ある場合は記載）			その他事項
兵庫県環境の保全と創造に関する条例「特定工作物解体等工事届」（令和○年○月×日届出）			調査結果の概要に示す「石綿含有なし」に記載された○数字は、以下に示す判断根拠を示す ①目視 ②設計図書 ③分析 ④材料製造者による証明 ⑤材料の製造年月日

○数字は右下欄「その他の事項」を参照

令和5年10月以降着工の場合、有資格者による事前調査及び分析の実施が必須となります